

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会宇城支部

令和2年産美里かぼちゃ生育順調！

美里町では、農家の所得向上や耕作放棄地の解消を目的に中山間地域の振興策として、12月下旬から1月上旬に出荷する抑制カボチャ（品種名：クリユタカ）の栽培を推進しており、「美里かぼちゃ研究会」（右田賢次郎会長、38戸）が熱心に取り組んでいます。

研究会では、7月8日に美里町役場にて令和2年美里かぼちゃ研究会通常総会及び栽培講習会を開催し、播種準備から出荷までの重要な管理方法や気象災害への対策について指導を受けました。また、8月18日及び9月29日には研究会事務局員及び野菜振興協会宇城支部員が全戸ほ場を巡回し、播種状況や生育状態を調査しました。

今年は、台風9号・10号による暴風の被害が心配されましたが、栽培講習会での説明を受けて気象災害対策を実施された方が多く、被害は少ない状況で、葉色や着果位置、玉の肥大状況が良好なほ場がほとんどでした。

これから、収量及び品質の確保に向けて、栽培管理の重要な時期を迎えます。研究会では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら現地検討会を開催し、病害虫防除等の徹底を図っていく予定です。



ほ場の様子（9月29日）



玉の肥大状況